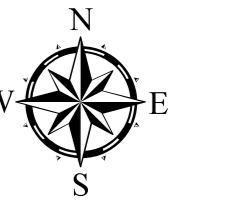
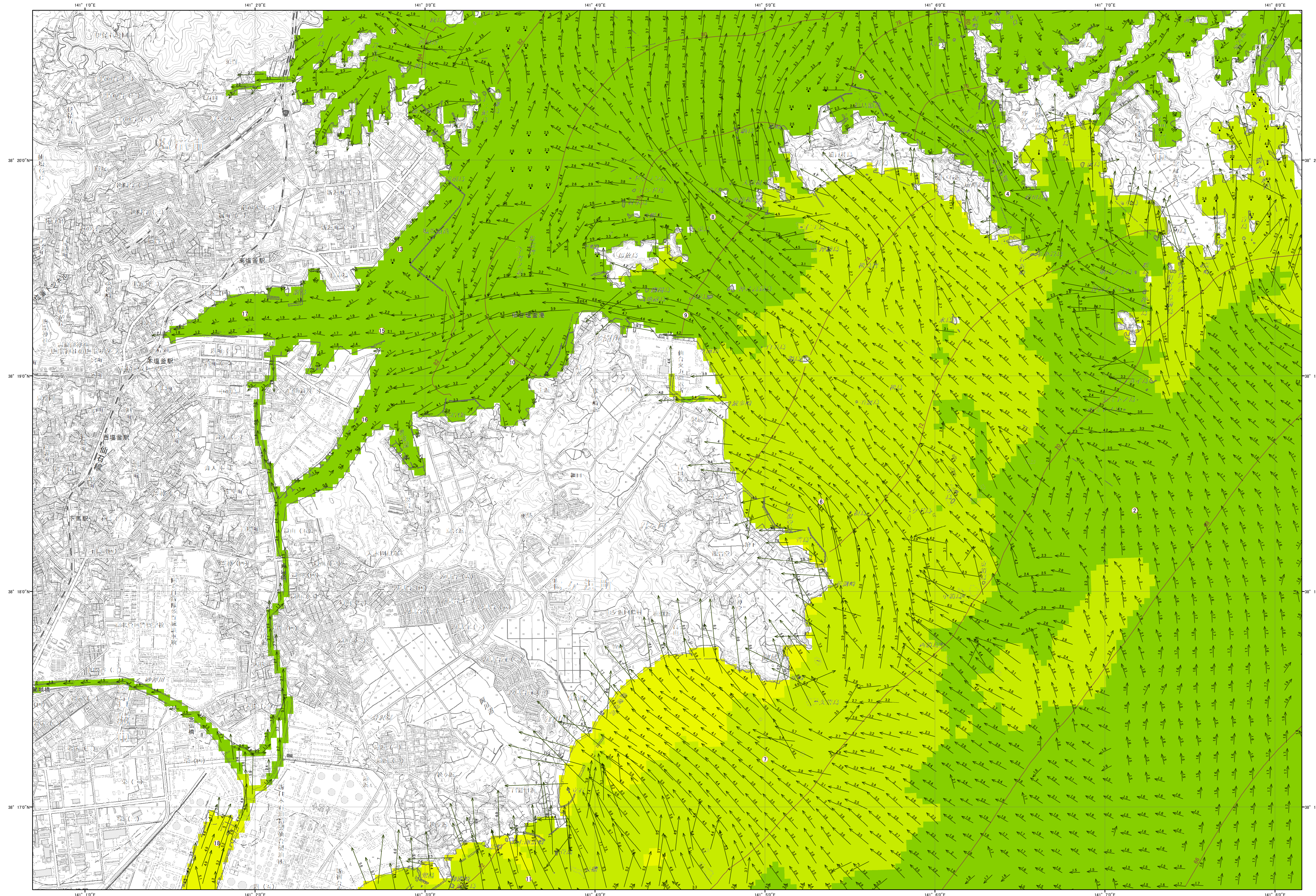


計算条件: 最高水面(零位)
隆起量: 平均 -0.01m(-0.02m ~ -0.01m)
Z0: 0.92m
備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

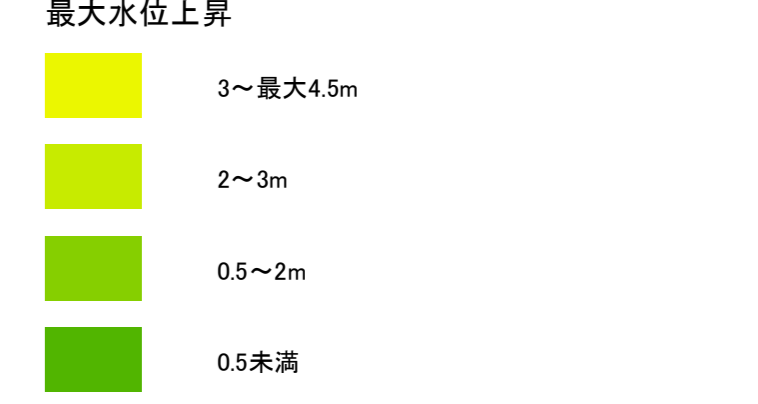


投影系:メルカトル図法
測地系:世界測地系(WGS84)

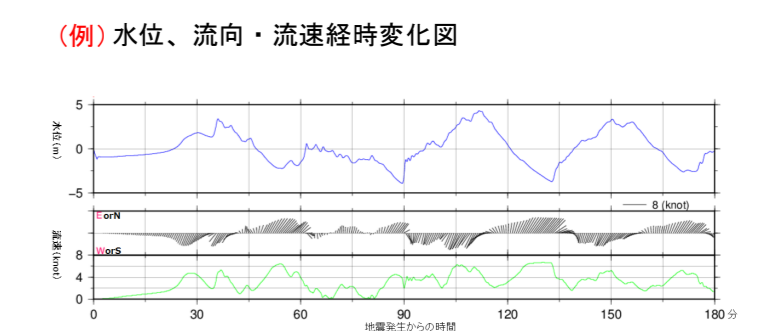


凡例

水位上昇(+10cm)となる等時線(分)



経時変化出力点
(図上の位置における津波の挙動を別添の経時変化図で示す。)



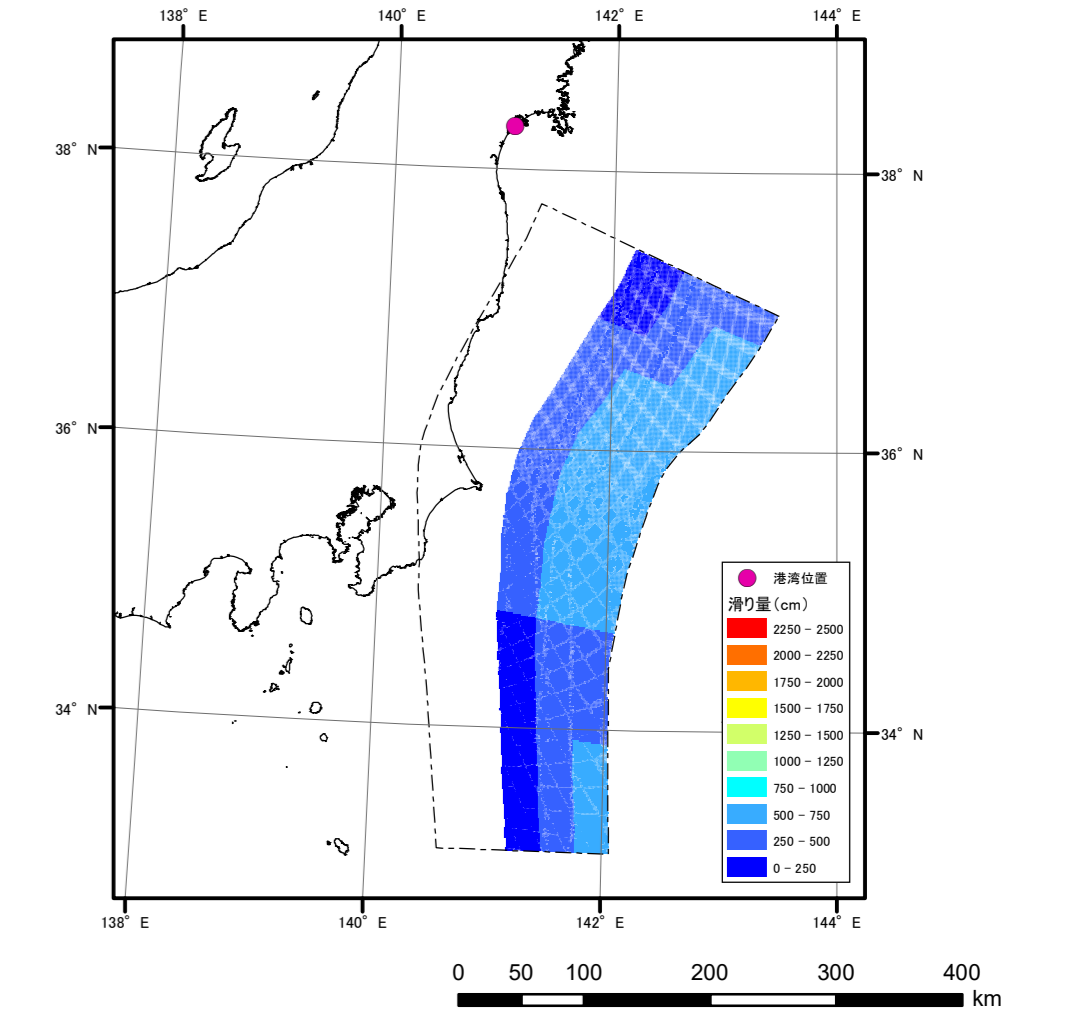
進入時最大流 [knot]
3 knot
2 knot
1 knot

津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。

防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。

断面モデル



延宝房総沖地震
モーメントマグニチュード Mw 8.5

本断面モデルは、内閣府の「首都圏下地震モデル検討会」(平成25年12月1日発表)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情報 第1374号 平成29年3月10日)

作成機関: 海上保安庁
防災情報図作成年月: 平成29年7月 (初版)
地形データ作成年月: 平成29年1月 (初版)